

平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 2 月 10 日

会 社 名 フィールズ株式会社

（JASDAQ コード番号：2767）

（URL <http://www.fields.biz>）

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 山本 英俊

問 い 合 わ せ 先 責 任 者 役 職 名 取締役管理本部長

氏 名 山中 裕之

（Tel : (03) 5784 - 2111(代)）

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 税金費用の計算等につきましては、一部簡便な方法を採用しております。

最近連結会計年度から会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結（新規）社（除外）社  
持分法（新規）1社（除外）社

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況（百万円未満は切り捨てて表示しております）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	41,027	( 11.2)	3,241	( 52.4)	3,401	( 52.3)	2,024	( 48.9)
16年3月期第3四半期	46,212	( )	6,806	( )	7,135	( )	3,958	( )
(参考)16年3月期	66,211		11,866		12,209		6,620	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	5,925 30	
16年3月期第3四半期	24,509 10	
(参考)16年3月期	40,465 97	

（注）1. 期中平均株式数 平成 17 年 3 月期第 3 四半期 341,666 株 平成 16 年 3 月期第 3 四半期 32,300 株  
平成 16 年 3 月期 161,500 株

2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

【経営成績（連結）の進捗状況に関する定性情報等】

当社は「すべての人に最高の余暇を」の企業理念の下、日本社会の成熟化が進む近年、ますます多様化する国民各層の広範な娯楽ニーズにお応えすることを通じまして、企業価値の増大、成長機会の拡大、株主利益の向上に努めてまいりました。

その一環といたしまして、パチンコ・パチスロ事業におきましては平成 15 年 11 月に SANKYO グループ・ビスティ社との業務提携により有力な商品プラットフォームの拡充を実現いたしました。またゲーム分野におきましては平成 16 年 1 月にディー・スリー・パブリッシャー社（以下「D3P」と呼ぶ）との資本提携を含む業務提携の実現によりまして新事業分野進出への足がかりを築き上げてまいりました。

このような営みを続ける中、平成 16 年 7 月 1 日に「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」等の遊技機開発基準の大幅な変更を伴う関連法規の改正（以下「規則改正」と呼ぶ）が行われました。今般の規則改正は、適度な射幸性の枠内で豊かなゲーム性を実現することが趣旨とされております。当社におきましては、提携先企業との協働によりまして新規規則の趣旨を適える新商品開発に注力いたしてまいりました。

当第 3 四半期、パチンコ部門におきましては、新規規則対応機第 1 号となります「CR 新世紀エヴァンゲリオン」を発売いたしました。同機は業務提携効果の本格始動第 1 弾といたしまして 1 年近くの開発期間を経て、従来比 130% の大型盤面に業界最大級の 10.4 インチ液晶を搭載、業界最高峰の水準を誇る SANKYO グル

ープの技術を得て、幅広い層に人気を博す原作「新世紀エヴァンゲリオン」の斬新な世界観を鮮やかに表現することに成功いたしました。市場から大きな評価をいただきました。ちなみに同シリーズはパチンコ機においては当社創業以来のヒットを記録いたすこととなりました。

第4四半期におきましても、1月に発売開始いたしました「CR俺の空」「CR華原朋美とみなしごハッチ」が、キャラクターの知名度、好感度の高さ、また企画の斬新性が評価され、市場から大きな共感を持って迎えられ、今後の事業提携効果のさらなる拡大に向けて明るい見通しをもたらすとともに、当期通期計画の達成に寄与いたすものと存念いたしております。また「CR新世紀エヴァンゲリオン」につきましては、第4四半期以降も受注が殺到し、増産分につきましては第4四半期の計画に寄与いたします。

パチスロ部門につきましては、当第3四半期、史上初の全面液晶を搭載した「カイジ」を発売いたしました。引き続き第4四半期におきましても、「鬼武者3」を3月下旬より発売開始いたす予定でございます。同機はカプコン社製の同名の大ヒットゲームを業界最高水準と謳われるサミーグループのパチスロ技術で実現した20インチ大型液晶搭載の野心作といたしまして市場投入されますが、発表と同時に前評判が沸騰し、発売前といたしましては当社創業以来となります大量の受注を頂戴いたしております。「鬼武者3」は当期通期計画の達成に寄与することはもちろん、来期計画にも寄与いたすことを見込んでおります。また「鬼武者3」発売に先立って、「大ヤマト」を3月上旬に市場投入いたします。同機は大ヒットしたパチンコ機「CRフィーバー大ヤマト2」と同様に松本零士氏原作の人気アニメをキャラクターに起用し、市場での同キャラクターに対します人気の高さからも当期通期計画の達成に寄与いたすものと見込んでおります。

このように有力キャラクター商品化権を獲得し、綿密なマーケティングに基づく商品企画を行い、提携メーカーとの協働による商品開発を経た当社販売ネットワークによる商品販売、すなわちコンテンツ提供を核といたしました当社のコンテンツ・プロバイディング戦略は、当第3四半期におきまして「CR新世紀エヴァンゲリオン」のヒットに見られますように着々と実を結びつつあります。今後はさらにキャラクター商品化権の提供にとどまらない、そのキャラクターに関する商品企画提供、開発関与などに積極的に取り組み、商品価値の飛躍的な増大を図ってまいります。また国民各層の幅広いニーズを満たす多様な有力キャラクター商品の提供を通じてパチンコファン人口拡大をめざします「プロジェクト45」をさらに積極的に推進することで、パチンコ市場の拡大にも取り組んでまいります。このような商品価値とファン人口の二つの拡大を追い風として、当社は今後もういっそうの市場シェア拡大をめざしてまいります。

当社事業の推進力となる有力キャラクター商品化権の獲得は、当第3四半期におきましても極めて順調に推移いたしました。この結果、通常1~2年間の開発期間を必要とするパチンコ・パチスロ商品の特性に鑑み、当社商品プラットフォームにおける多量の需要を満たす有力キャラクター商品化権の保有はほぼ担保されました。また一方では、当社は子会社プロフェッショナル・マネージメントなどを通じて提携メーカー以外へのキャラクター商品化権販売に着手し、既に当第3四半期中に実績を挙げるに至っております。今後はこのような販売先の増大並びに多様化によりまして、さらに多ジャンルにわたる多量の有力キャラクター商品化権の獲得が可能となってまいります。これらの進捗による効果は、当社プラットフォームにおけるキャラクター商品化権の量的拡大と質的向上をもたらしますとともに、非提携メーカー各社との関係強化に寄与し、今後の事業展開におきまして新たなビジネスチャンスを生み出してくれるものと期待を寄せております。

当第3四半期におきまして、ゲーム分野では関連会社D3Pはウォルト・ディズニーの映画を原作とする「シュレック2」「ミスター・インクレディブル」の家庭用ゲームを発売いたしました。さらに当社がスポンサーいたしますK-1ダイナマイトをモチーフとした家庭用ゲーム「K-1プレミアムダイナマイト」を発売いたしました。また平成16年11月には、家庭用ゲーム分野における最大市場である北米マーケットを視野に入れた現地法人「D3Publisher of America, Inc.」を設立いたしました。今後は北米在住プロデューサー、クリエイターによる現地企画、現地開発を推し進め、北米市場のニーズに合致したゲーム商品の開発を進めてまいります。さらに同社は、当社グループの北米情報基地といたしまして、同地を中心にキャラクター商品化権情報の収集並びに発信を担うとともに、商品化権獲得の前線基地として積極的な活動を展開いたしてまいります。

この結果、当第3四半期の当社業績は、売上高41,027,860千円(前年同期比11.2%減少)、営業利益3,241,017千円(同52.4%減少)、経常利益3,401,278千円(同52.3%減少)、四半期純利益2,024,475千円(同48.9%減少)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	40,254	28,378	70.5	81,781 54
16年3月期第3四半期	20,164	11,752	58.3	72,769 46
(参考)16年3月期	37,115	14,507	39.1	89,305 39

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	4,149	3,578	9,629	7,340
16年3月期第3四半期	1,371	2,025	970	4,114
(参考)16年3月期	851	3,190	2,029	5,437

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性情報】

当第3四半期の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ1,903,147千円増加しております。平成16年6月に新株発行を行ったことによる収入、有形固定資産の取得等による支出の結果、当第3四半期末の資金は7,340,906千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は4,149,346千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が3,557,440千円となったことや、売上債権及び仕入債務の減少(5,703,879千円、5,956,166千円)と法人税等の支払5,170,206千円、商品化権(著作権)の支払1,294,753千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は3,578,570千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,999,320千円、投資有価証券の取得による支出1,259,935千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は9,629,151千円となりました。これは主に新株式の発行による収入13,150,847千円、短期借入金の減少2,770,000千円、配当金の支払1,271,695千円によるものであります。

3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	73,700	14,000	7,600

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 21,909円62銭

(注) 平成16年6月15日付増資による新株式12,000株の発行及び平成16年9月3日付の株式分割(1:2)による増加後株式数343,000株で算出しております。

平成17年3月期の連結業績予想については、平成17年3月期中間決算短信(連結)(平成16年11月19日)から変更はありません。

## (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位: 千円)

科 目	期 別		前第3四半期 (平成16年3月期第3四半期末) (平成15年12月31日現在)		当第3四半期 (平成17年3月期第3四半期末) (平成16年12月31日現在)		(参考) 平成16年3月期 (平成16年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
( 資 産 の 部 )		%		%		%		%
流動資産								
1. 現金及び預金	4,114,150		7,340,906		5,437,758			
2. 受取手形及び売掛金	5,497,745		13,187,648		18,865,138			
3. 有価証券			5,000					
4. たな卸資産	199,502		407,035		256,541			
5. 商品化権前渡金	1,300,825		3,014,829		1,720,076			
6. その他	2,185,657		4,327,986		1,960,042			
7. 貸倒引当金	26,351		44,471		86,953			
流動資産合計	13,271,530	65.8	28,238,934	70.2	28,152,604	75.9		
固定資産								
1. 有形固定資産	2,490,534	12.3	4,712,988	11.7	3,351,355	9.0		
2. 無形固定資産	234,244	1.2	896,796	2.2	384,585	1.0		
3. 投資その他の資産								
1) 投資有価証券	1,879,834		3,975,325		2,824,195			
2) その他	2,360,697		2,524,156		2,495,364			
3) 貸倒引当金	72,446		93,680		92,265			
投資その他の資産合計	4,168,085	20.7	6,405,801	15.9	5,227,294	14.1		
固定資産合計	6,892,864	34.2	12,015,586	29.8	8,963,234	24.1		
資産合計	20,164,395	100.0	40,254,520	100.0	37,115,839	100.0		

(単位：千円)

期 別 科 目	前第3四半期 (平成16年3月期第3四半期末) (平成15年12月31日現在)		当第3四半期 (平成17年3月期第3四半期末) (平成16年12月31日現在)		(参考) 平成16年3月期 (平成16年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
( 負 債 の 部 )		%		%		%
流動負債						
1. 買掛金	3,442,760		6,315,675		11,645,579	
2. 短期借入金			230,000		3,000,000	
3. 1年内返済予定長期借入金			81,000			
4. 賞与引当金	4,650		5,000		18,600	
5. その他	2,942,254		1,792,394		5,890,658	
流動負債合計	6,389,665	31.7	8,424,069	20.9	20,554,837	55.4
固定負債						
1. 長期借入金			439,000			
2. 退職給付引当金	119,333		124,265		120,815	
3. 役員退職慰労引当金	685,000		549,500		699,800	
4. その他	1,195,848		2,313,912		1,214,589	
固定負債合計	2,000,181	9.9	3,426,678	8.5	2,035,204	5.5
負債合計	8,389,847	41.6	11,850,748	29.4	22,590,042	60.9
( 少 数 株 主 持 分 )						
少数株主持分	22,280	0.1	25,579	0.1	17,976	0.0
( 資 本 の 部 )						
資本金	1,295,500	6.4	7,948,036	19.7	1,295,500	3.5
資本剰余金	1,342,429	6.7	7,994,953	19.9	1,342,429	3.6
利益剰余金	8,972,955	44.5	12,231,171	30.4	11,631,695	31.3
その他有価証券評価差額金	141,382	0.7	204,032	0.5	238,194	0.7
資本合計	11,752,267	58.3	28,378,193	70.5	14,507,820	39.1
負債、少数株主持分及び資本合計	20,164,395	100.0	40,254,520	100.0	37,115,839	100.0

## (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期			当第3四半期			(参考)		
	(平成16年3月期第3四半期末)			(平成17年3月期第3四半期末)			平成16年3月期		
	(自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)			(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)			(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)		
	金額		百分比	金額		百分比	金額		百分比
売上高		46,212,250	100.0		41,027,860	100.0		66,211,589	100.0
売上原価		32,625,209	70.6		28,661,968	69.9		44,633,469	67.4
売上総利益		13,587,040	29.4		12,365,891	30.1		21,578,120	32.6
販売費及び一般管理費		6,780,807	14.7		9,124,873	22.2		9,711,541	14.7
営業利益		6,806,232	14.7		3,241,017	7.9		11,866,578	17.9
営業外収益									
1. 受取利息	5,073			5,557			6,060		
2. 受取配当金	6,180			9,941			6,280		
3. 仕入割引				128,798					
4. 持分法による投資利益	285,026			211,114			292,330		
5. その他	48,765	345,045	0.7	46,960	402,372	1.0	65,114	369,784	0.6
営業外費用									
1. 支払利息				12,098			2,197		
2. 新株発行費				83,219			2,290		
3. 増資関連費用				112,494					
4. その他	15,680	15,680	0.0	34,299	242,112	0.6	22,365	26,853	0.1
経常利益		7,135,597	15.4		3,401,278	8.3		12,209,509	18.4
特別利益									
1. 保証債務取崩益				2,600			17,400		
2. 投資有価証券売却益				162,685					
3. 固定資産売却益							6,447		
4. 貸倒引当金戻入益	2,831			48,679					
5. 匿名組合投資利益	7,753			19,879			22,166		
6. 役員退職慰労引当金戻入益		10,584	0.0	150,300	384,145	0.9		46,014	0.1
特別損失									
1. 固定資産除却損	12,025			61,506			23,735		
2. 投資有価証券評価損				166,477					
3. 出資金評価損	52,041	64,066	0.1		227,983	0.6	42,587	66,322	0.1
税金等調整前四半期(当期)純利益		7,082,116	15.3		3,557,440	8.6		12,189,200	18.4
法人税、住民税及び事業税	3,229,469			1,184,648			5,768,861		
法人税等調整額	127,854	3,101,614	6.7	340,713	1,525,361	3.7	211,184	5,557,676	8.4
少数株主利益		22,280	0.1		7,602	0.0		11,269	0.0
四半期(当期)純利益		3,958,220	8.5		2,024,475	4.9		6,620,253	10.0

(要約) 四半期連結剰余金計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	前第3四半期 (平成16年3月期第3四半期末) (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)		当第3四半期 (平成17年3月期第3四半期末) (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		(参考) 平成16年3月期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)	
	金額		金額		金額	
(資本剰余金の部)						
資本剰余金期首残高		1,342,429		1,342,429		1,342,429
資本剰余金増加高						
増資による新株の発行			6,652,524	6,652,524		
資本剰余金四半期末(期末)残高		1,342,429		7,994,953		1,342,429
(利益剰余金の部)						
利益剰余金期首残高		6,060,735		11,631,695		6,060,735
利益剰余金増加高						
当期純利益	3,958,220	3,958,220	2,024,475	2,024,475	6,620,253	6,620,253
利益剰余金減少高						
1. 配当金	969,000		1,340,000		969,000	
2. 役員賞与	77,000		85,000		77,000	
3. 連結子会社増加に伴う剰余金減少額		1,046,000		1,425,000	3,293	1,049,293
利益剰余金四半期末(期末)残高		8,972,955		12,231,171		11,631,695

## (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前第3四半期 (平成16年3月期第1四半期末) (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	当第3四半期 (平成17年3月期第1四半期末) (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	(参考) 平成16年3月期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益		7,082,116	3,557,440	12,189,200
2. 減価償却費		213,258	394,505	317,565
3. 連結調整勘定償却		1,111	1,111	1,481
4. 貸倒引当金の増加・減少( )額		15,881	41,066	64,540
5. 賞与引当金の増加・減少( )額		13,350	13,600	600
6. 退職給付引当金の増加・減少( )額		13,334	3,450	14,816
7. 役員退職慰労引当金の増加・減少( )額		116,000	150,300	130,800
8. 受取利息及び受取配当金		10,627	15,367	12,340
9. 持分法による投資利益		285,026	211,114	292,330
10. 支払利息			12,098	2,197
11. 増資関連費用			92,815	
12. 新株発行費			61,397	
13. 固定資産除却損	12,025		61,431	23,735
14. 匿名組合投資利益				22,166
15. 匿名組合投資損失	7,753		19,879	
16. 出資金評価損				42,587
17. 投資有価証券売却益			162,685	
18. 投資有価証券評価損			166,477	
19. 売上債権の減少・増加( )額	1,058,848		5,703,879	14,546,569
20. たな卸資産の減少・増加( )額	60,759		155,998	7,919
21. 商品化権前渡金の減少・増加( )額	1,038,700		1,294,753	1,457,951
22. 前払費用の減少・増加( )額	58,982		182,401	55,300
23. 立替金の減少・増加( )額	27,073		373,168	72,860
24. 保管手形の減少・増加( )額	108,045		158,822	4,168
25. 営業外受取手形の減少・増加( )額	329,638		275,116	318,724
26. 営業保証金の減少・増加( )額				265,576
27. 仕入債務の増加・減少( )額	696,089		5,956,166	8,823,448
28. 未払消費税等の増加・減少( )額	40,025		531,908	219,056
29. 預り金の増加・減少( )額	40,274		191,799	83,971
30. 預り保証金の増加・減少( )額	264,589		1,120,314	298,114
31. 役員賞与の支払額	77,000		85,000	77,000
32. その他	4,955		1,038,005	70,428
小計	5,754,987		997,990	5,235,325
33. 利息及び配当金の受取額	30,855		34,974	33,319
34. 利息の支払額			12,104	3,140
35. 法人税等の支払額	4,414,104		5,170,206	4,414,311
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,371,738		4,149,346	851,192
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の取得による支出	807,156		1,999,320	1,520,955
2. 有形固定資産の売却による収入				6,964
3. 無形固定資産の取得による支出	108,181		543,676	287,452
4. 投資有価証券の取得による支出	473,062		1,259,935	1,356,059
5. 投資有価証券の償還による収入			1,456	200,700
6. 出資金の取得による支出	591			1,050
7. 貸付による支出	309,850		24,000	461,020
8. 貸付金の回収による収入	161,714		71,983	108,250
9. 敷金保証金の解約による収入	55,859		91,330	74,495
10. 敷金保証金の差入による支出	258,763		130,563	278,753
11. 長期前払費用の支出	18,776		23,048	65,304
12. 保険積立金の解約による収入	4,825			422,076
13. 保険積立金の積立による支出			819	1,092
13. その他	61,250		238,024	30,993
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,025,812		3,578,570	3,190,193

(単位：千円)

科 目	期 別	前第3四半期 (平成16年3月期第1四半期末) (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	当第3四半期 (平成17年3月期第1四半期末) (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	(参考) 平成16年3月期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期借入金の増加・減少( )額			2,770,000	3,000,000
2. 長期借入金の増加・減少( )額			520,000	
3. 株式発行による収入			13,150,847	
4. 割賦債務返済による支出	1,837			3,790
5. 配当金の支払額	969,000		1,271,695	966,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	970,837		9,629,151	2,029,999
現金及び現金同等物に係る換算差額			1,912	1,892
現金及び現金同等物の増加・減少( )額	1,624,911		1,903,147	310,893
現金及び現金同等物の期首残高	5,739,061		5,437,758	5,739,061
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加・減少( )額				9,590
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	4,114,150		7,340,906	5,437,758